

# 生きがい通信

愛称：ドリーム

No.14. R7.3.3

シルバー人材センター  
(文責：奥田)

## いきいき作品展開催

令和6年度のいきいき作品展が、2月28日(金)午後1時～3月1日(土)午後3時の間で開催されました。いずれ劣らぬ会員33人の力作74点が出展されました。今年度は出展数・来場者数(132人)とも大幅に増加し、大変盛大に開催できました。東松山ケーブルテレビの取材もあり、会員は勿論、町民にも広く認知されてきたことに、準備段階から当日の運営まで、中心になってご苦労頂いた「いきいき作品展実行委員会」の皆様をはじめ事務局としても大変喜んでいるところです。



分野	ジャンル	作品数	
絵画	13	水彩	5
		墨彩	1
		墨絵	2
		油絵	2
		はり絵	1
		ちぎり絵	2
文芸	7	俳画	2
		俳句	4
		短歌	1
写真	5	額装	5
手工芸	21	パッチワーク	1
		編物	4
		刺繍	2
		手工芸	2
		手づくり作品	5
		折り紙	1
		布小物	4
		小物	1
アレンジメント	1		
彫刻	7	陶芸	7
盆栽	14	盆栽	8
		鉢植(花)	3
		フラワーアレンジメント	1
		生け花	2
書道	7	半紙	1
		額装	3
		軸	3



## つれづれの記

太陽ホールディングス 70 年記念誌を拝読させていただきました。その記事の中で、当センターの安藤副理事長さんが、花見台にある水上発電所の開設に並々ならぬご努力を傾注されたという記事に「目からうろこ」状態で、そのいきさつを知り、安藤副理事長さんの地元企業や地元の発展に寄与するという気持ちと粘り強いご努力に敬服しました。

また、その冊子の中で社長さんの言葉に感銘を受けた内容がありましたので紹介します。

- ① 佐藤社長：「当社の組織は非常に強いものがあります。でも横の連携が十分とは言えませんでした。会社をさらに強くするためには、社員同士のコミュニケーションが重要なのです。それには社員が全員友達になってしまうことだ。そうすれば自然にコミュニケーションが生まれますから、組織の壁が取り払われます。同じ釜の飯を食う機会をつくり意図的に社員の交流を図る必要があります。

昨今、効率重視でパソコンや携帯電話の機能を使った仕事の遂行が増える中で、モチベーションアップにはこの「同じ釜の飯を食う」という考え方や対応が絶対に必要だなと感じていたところ、この社長さんの言葉にまさに我が意を得たりという気持ちでした。

- ② 「自律型人材」＝自ら目標を立てて行動し、目標の達成を楽しめる人材  
 グローバルな人材はイコール外国語ができる人材と思われがちですが、グローバルに活躍できる人と言葉は必ずしもイコールではありません。もっと人材がしっくりくる言葉として自ら考えて実行できる能力を持つ人材、それを自律型人材という言葉で表しました。

このような考え方のもとに小さな組織のトップに多くの人材を登用し、事業と共に人を育てる。という大企業トップの考えにさすがだなと感じた。